

2023年度第11回執行理事会議事録

日 程：2024年5月18日（土）13:00～17:00
【WEB会議】

出席：岡田 誠、杉田律子、中澤 努、緒方信一、内尾（保坂）優子、内野隆之、尾上哲治、加藤猛士、狩野彰宏、亀高正男、小宮剛、坂口有人、高嶋礼詩、辻森 樹、松田達生、矢部 淳、山口飛鳥

監事：岩部良子

欠席：星 博幸、山本正司

事務局 堀内

*定足数（過半数：10）に対し、執行理事17名の出席

*前回23-10議事録案について、本執行理事会にて承認された。

報告事項

1. 全体的報告

・特になし

2. 運営財政部会（亀高・加藤）

1) 総務委員会

<共催・後援依頼、他団体の募集、連絡等>
・青少年のための科学の祭典2024（24/6/8-25/1/26；全国各44会場）への後援依頼があり、承諾した。

<会員>

1. 今月の入会者：正会員学生9名（単年度2名、2年バック6名、3年バック1名）

藤井雄大、市村 健、浦川真登、伊藤禎宏、荻野峻右、大嶋俊介、檜垣悠斗、小林和哉、萩野 穰

2. 今月の退会者：正会員一般2名

遠藤 拓、谷脇由華

3. 今月の逝去者：なし

4. 2024年4月末会員数

賛助31、名誉34、ジュニア会員5、正会員3042〔内訳：一般2008、シニア854、学生会員18〕合計3112（昨年比-39）

<会計>

・第2回研究奨励金を5/9付で採択者（6名）に支給した。

<その他>

・規則の整理について：2024年度の目標：事業部会に属する委員会の規則を整備する。

・業務監査を5/15（水）に実施した。2023年度の事業内容と財務状況（決算）、2024年度の事業計画と予算案、理事会及び執行理事会の活動状況や会員への周知実績、事務局の勤務状況などを監事に確認頂いた。監事より特に選挙の方法について改善することが必要との意見があった。電子投票の周知徹底をはかる。

・会員システムについて、4/23（火）に業者と打合せを行い、改修作業を進めている。

→支部、専門部会のML配信機能：各2名程度の管理者（配信）権限を設定、近日運用開始予定。従来のMLのように意見交流（相互配信）はできない。現システムによる大人数の相互配信機能は難しいため、ジオフラッシュ等の活用で代用してもらいたい。

→画面の見やすさ（フォント、画面サイズ、視認性等）について改善を進める。

→サーバ作業のため、6/12（水）-14（水）は会員システムの利用を一時停止する。メルマガ、ニュースで周知する。

3. 広報部会（内尾・松田）

1) 広報委員会（内尾）

地質の日のプレスリリースを5/1付で行った。

4. 学術研究部会（辻森・尾上・高嶋・山口）

1) 行事委員会（高嶋・山口）

・2024山形大会

→講演要旨の締め切り延期：6月19日→6月26日に変更。プログラム編成の行事委員会を6月29日（土）に開催。9月初めに大会が行われるため、締切が早くなっている。

→巡検案内書（未投稿1、受理3、査読中1、査読への対応中3）

→会場費の減免措置については5月22日頃に明らかになる予定。

→企業説明会について6月に広報したいので、開催会場スペース等について今後LOCと確認する。

・2025熊本大会

→コンベンションの助成金を申請予定。

→懇親会は生協で実施予定。

・2026大会：会場は金沢大学を予定。

・ショートコース（山口）

→次回、第11回ショートコース「微化石」（講師：松岡 篤、林 広樹）を7/21（日）開催予定。ニュース誌5月より広報開始。

2) 専門部会連絡委員会（尾上）

特になし

3) 国際交流委員会（辻森・岡田）

特になし

4) 地質標準化委員会（内野）（→審議事項へ）

特になし

5. 編集出版部会（狩野・小宮）

1) 地質学雑誌編集委員会（小宮）

(1) 編集状況報告（2024年5月13日現在）

・2024年投稿論文：22（昨年比-2）〔内訳〕論説9（和文9）、報告2（和文1、英文1）、レター3（和文3）、フォト1（和文1）、巡検案内書7

・査読中：19、受理済み：4、入稿・校正中：7、130巻公開済み12件（168ページ）

(2) 編集委員の交代

堀江委員→新正裕尚（東京経済大）（→2024年第1回度理事会審議事項へ）

2) Island Arc編集委員会（狩野）

(1) 編集状況報告

・前月とあまり変わりなし。IFは（2022-2023）表示のまま更新されていない。

(2) 編集委員長、編集委員の交代予定

編集委員長（EIC）交代：辻森 樹→市山祐司（千葉大）、狩野彰宏→長谷川 卓（金沢大）。次期編集委員会メンバーは現在選定中。新EICを含め12月理事会にて提案・承認予定。今後の執行理事会での編集報告等は引き続き編集委員として残留する辻森理事に担当頂く。

6. 社会貢献部会（坂口・矢部・内野）

1) 地学教育委員会（坂口）

特になし

2) 地質技術者教育委員会（坂口）

・委員長交代：天野一男→竹内真司（日本大）

・2024年度JABEE定時社員総会&創立25周年記念大会（6/5開催）の案内があった。出欠返信期日5/30

3) 生涯教育委員会（矢部）

・5/9に委員会をオンライン開催し、各担当の進捗状況を共有した。

・ニュース連載記事の「博物館で地学を学ぼう！」を継続中。5月号は秋田大学附属鉱業博物館・西川 治会員、6月号は東北大学総合学術博物館・高嶋理事

・委員体制の変更。今期末で退任：川端委員長・平田理事。新委員：笠間友博理事（箱根ジオパーク）・白井孝明氏（萩ジオパーク）

4) 地震火山地質こどもサマースクール（星）

特になし

5) 地質の日（矢部）

・惑星地球フォトコンテスト第15回ほか入選作品展示会を東京パークスギャラリーで開催した（5/1-12）。

・オンライン一般講演会「令和6年能登半島地震による地殻変動と地盤災害」を5/12（日）に実施し、YouTubeLiveで同時配信を行った。当日の最大視聴数は191人。現在の視聴数は1572回（5/16現在）。講演会に関して、プレゼント付きのアンケートを実施している。現在60件のアンケートを頂いている。

・街中ジオ散歩in東京を5/19（日）に東京麻布台で開催する。

・街中ジオ散歩共同開催に関する協定書を日本応用地質学会と取り交わした。

7. その他執行理事会の下に設置される委員会及び組織

1) 利益相反マネージメント委員会（中澤）

特になし

2) 若手育成事業検討WG（内野）

・関東支部主催の城ヶ島巡検（6/8-9）および清澄フィールドキャンプ（8/19-24）について、学生会員への参加費補助適用の申請があった。収支案、募集案内文を一部修正の上、承認した。

3) 表彰制度検討WG（中澤）

特になし

8. 理事会の下に設置される委員会

- 1) ジオパーク支援委員会（矢部）
 - ・委員の退任：平田大二委員
 - ・委員の追加：岩井雅夫（高知大学海洋コア国際研究所）（→2024年第1回理事会審議事項へ）
- 2) 地学オリンピック支援委員会（坂口）
 - 特になし
- 3) 支部長連絡会議（杉田）
 - 特になし
- 4) 地質災害委員会（松田）
 - ・防災学術連携体の7ヶ月報告会について、地質学会からの発表者を現在調整中。発表申込締切6/10（月）。最近の新しい知見を発表された方等、調整を進めて行きたい。
- 5) 名誉会員推薦委員会（星）
 - 特になし
- 6) 各賞選考委員会（中澤）
 - 特になし
- 7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会（辻森）
 - 特になし
- 8) 連携事業委員会（中澤）
 - 特になし
- 9) 法務委員会（中澤）
 - 特になし
- 10) 若手活動運営委員会（桑野）
 - 特になし
9. 研究委員会
 - 1) 南極地質研究委員会（委員長 大和田正明）
 - 特になし
 - 2) 法地質学研究会（委員長 川村紀子：杉田）
 - 特になし
10. その他
 - 1) 選挙管理委員会（代理中澤）
 - 特になし

審議事項

1. JIS 0205改訂（追補）に向けた地質年代表記の修正について（内野）

5月開催のJIS原案作成委員会で、地質年代の一部のカタカナ表記について、実際の発音に則した表記に変更すべきとの提案があり、本学会にこの修正提案への見解を伺いたい旨の連絡があった。修正提案を確認し妥当な提案と判断されることから、学会としてもこれを受け入れ、日本語版層序表での表記もこれに従い変更することにした。またその旨を作成委員会へ回答する。なお、その他の時代についても一部カタカナ表記を変更したほうがよいと思われるものもあり、今後改めて一通り検討することにした。
2. 総会の議事進行について

6月8日開催。議案内容、報告者等を確認した。
3. 2024年度第1回理事会議事の確認

6月8日総会終了後開催。議案内容を確認した。なお、各賞選考委員の選出については第2回理事会（8/31予定）で行う。
4. 支部例会等の講演要旨のJ-STAGE掲載に

ついて（杉田）

一部の支部より、支部例会等の講演要旨のJ-STAGE等公開できる掲載の希望が寄せられた。学術大会講演要旨に準じて公開する方向で進めたい。実際の掲載作業はJ-STAGEのデータ仕様やルールに沿って各支部にて対応をお願いする。

監事コメント

（岩部監事より）

監査を行い、コロナ後はハイブリッドでの支部行事も複数あり、活動が盛んになってきたと感じている。今後も、全国の会員が参加しやすく、更に活発な支部活動になるよう進めて頂きたい。また、会員数減少による収入減少は理解できるが、収入減少を理由として会員サービスが低下しないように工夫を継続して頂きたい。

岡田会長コメント

今期の理事、監事、代議員、事務局の皆様、また活動にご尽力いただいた皆様、大変お疲れさまでした。心から感謝申し上げます。先ず、新しい選挙システムは、より会員が容易に知り得てアクセスしやすいシステムへの改善について次期執行理事会にお願いしたい。また、関連学協会との相互協力の発展についても、今後も変わらず進めて頂きたい。

以上

2024年6月20日

一般社団法人日本地質学会
会長（代表理事）岡田 誠
署名人 執行理事 中澤 努